

ひとくどり 人來鳥



大野町立中小学校
コミュニティ・スクールだより
第21号
令和3年7月20日

うぐいすの別名：地域の皆さんが地域の学校に集い共に子どもたちを育てていく願いを込めて



家庭・地域で成長する 今年の夏休み



…学校生活から37日間離れて、各家庭で過ごします…

7月20日終業式。令和3年度1学期70日間の学校生活を終えました。新型コロナウイルス感染症対策を継続し、日常に定着してきた「新しい生活様式」を実践しながら、子どもたちは日々元気よく登校し、皆で協力や工夫をしてできることに一杯取り組んできました。

そんな子どもたちの頑張りぶりを保護者・地域の多くの皆様に一斉に見ていただく機会を設けることが難しい状況が続く中、思いがけず岐阜放送から学校紹介の番組に中小学校を取り上げたいとお声をかけていただき、取材・撮影を経て、テレビ番組で学校生活の様子を放送していただけることになりました。

4年学級活動の授業を撮影中



6月24日の早朝から下校時間まで、一日をかけて授業や活動の様子を撮影され、インタビューを受けた児童もありました。もちろん、どの子も張り切って臨みました。現在7月の毎週土曜日5回にわたって、夜8:54~58ぎふチャン「キラめく！にじいろキッズ」にて放映されています。さすがプロの撮影・編集です。生き生きとした子どもたちの表情を鮮明な画面で見えていただくことができ、喜んでいます。今回の番組出演のお話は、ふるさと学習を推進する特色ある教育活動に取り組む学校ということから選んでいただき、中小学校の地域ぐるみの学校協働活動を評価していただけた点でも、うれしく思っています。

そして迎えた夏休み。今年は、感染拡大予防のため、プール開設も登校日もありません。（タブレットを活用したオンライン登校日を実施します）各地区の朝のラジオ体操も行われません。8月27日の2学期始業式まで、37日間を各家庭・地域で過ごすこととなります。夏休みの課題の取組、適度な運動や生活リズム、体調管理等、子どもたちはそれぞれ計画的に主体的に進めなくてはなりません。心配や不安がないわけではありませんが、昨年の臨時休校中に、各家庭で子どもたちが自分で学習・運動やお手伝いの内容を決め、やり方を工夫して、確かな成長を遂げたように、今年の夏休み期間もきっとそれ以上の頑張りや成長を見せてくれるものと期待しています。

それには、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力が欠かせません。今年の夏休み期間は、これまでに増して子どもたちと関わり、より多くの目で温かく見守っていただけますよう、よろしく願いいたします。「地域の子どもは地域で育てる」を今一度合言葉とし、中小学校の全ての子どもたちの健やかな成長に、それぞれのお立場から働きかけをお願いします。

中小学校コミュニティ・スクール常時活動より

地域の皆様、いつも
ありがとうございます

朝運動の時間に、ラジオ体操講習を行いました！ 7/13～16



—昨年までは、地域公民館活動の一環として夏休み前の日曜日にラジオ体操講習会が実施されましたが、この2年は取り止めとなっていました。今年度は、夏休み朝のラジオ体操や運動会の準備運動に向け、学校授業日の朝運動で地域のスポーツ推進員の方（ ）を講師にお迎えして実施しました。3学年ずつ体操の動きのポイントを指導していただき、短い時間で上達しました。

夏休み中、地域で参集して行う機会はなくなってしまいましたが、ぜひ各家庭で家族揃ってさわやかに朝のラジオ体操またはテレビ体操に取り組んでみませんか。適度に体を動かし、生活リズムを整えられ、家族団らんの場となり、一石三鳥かもしれません。

3年生は柿の摘果体験および大豆の種蒔き、5年生は田植えにチャレンジ！



3年生は 先生(柿摘果)とJA食農リーダーの皆様(大豆種蒔き)に、5年生は中小水稲栽培体験学習組織の皆様にご指導いただき、それぞれ農作業の体験をさせていただきました。子どもたちにとっては初めてのことばかりでなかなか上手くはいきませんが、実際に自分でやってみて気付くこと、分かること、考えることがたくさんあり、貴重な学習の場となりました。保護者ボランティアの皆様もご協力ありがとうございました。

5年生の米作りでは、田植え以外の様々な作業も見学させていただいています。今年は初めてドローンによる模擬消毒作業も見せていただきました。

先生が機材の特徴や操作について説明してくださいました。

